

平成24年度第4回山梨県私立学校審議会議事録

(平成25年2月1日掲載)

- 1 日 時 平成24年12月25日(火) 午後3時45分～午後4時30分
- 2 場 所 山梨県富士吉田合同庁舎2階大会議室
- 3 出席者  
(委員) 山田紀彦、古屋忠彦、山口博伸、中沢悦理、矢澤ひろ子、坂本悦子、田中佑幸、平井貴美代、鈴木信行、伊藤祐寛 出席 10人/定数12人  
(事務局) 私学文書課  
前嶋課長、芦沢総括課長補佐、小林課長補佐、遠藤主幹、天野副主幹  
伊藤主任、金丸主事

4 審議の経過

- (1) 事務局において定数を満たしていることを確認し、開会を宣言する。
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議長選出については、運営規程に基づき山田会長とする。
- (4) 議事録の署名人は、坂本委員、平井委員に決定する。
- (5) 議事等の審議

5 諮問事項

第1号議案 素和美小学校の設置認可について

第2号議案 甲府みなみ幼稚園の設置計画の変更について

6 議事の概要

- (1) 第1号議案 素和美小学校の設置認可について

委員：工事の仕方が不思議である。なぜ一部は屋根まで出来ていて、他は基礎しかできていないのか。

事務局：プレカットの材料が遅れている。形を見せようと法人で考えての結果である。

委員：水回りがよく分からなかった。

委員：トイレに行くのに外に出なければならない。なんとかならないのか。

委員：工事が間に合うのか。また、予算書は、収入を控えめに、支出は多めにとというのが一般的である。資金的にギリギリの印象だが、担保する何かはあるのか。

事務局：幼稚園等の法人からの支援がある。理事長個人の資産を寄附することも考えている。

委員：一年に一回、工事の進捗状況や様子を審議会で報告してほしい。

- 委員：建物や資金面で OK を出すのか。審議会委員として OK を出すには教育面も大切。OK と言った後の責任はどこまであるか。
- 事務局：会計等指導検査で新設校には毎年行くようにしている。
- 委員：教育計画表が入っていないのは、審議の対象となっていないからということでしょうか。
- 委員：プレカットの場合は一棟分を全部切ってしまう。今回はプレカットとは違うのでは。今日の段階で OK を出していいのかと思う。教育の場としてどうかと思う。現地調査の際に、理事長に建学の精神を聞いたのは、幼稚園の延長線上でやろうとしているのか心配したからである。建物の完成度は認可の要件になるか。
- 事務局：ない。
- 委員：大学の認可でもそのような要件はないが、補助金をなくすことでも事実上運営させない方法はある。今回もダメな理由が見つからなければ OK せざるを得ない。
- 会長：素和美小学校の設置認可について、認めてよいか。

第 1 号議案については、全員一致で認可することが適当である旨、答申された。

(2) 第 2 号議案 甲府みなみ幼稚園の設置計画の変更について

- 委員：保護者への告知はどうなっているのか。
- 事務局：計画承認となっているので話はしてある。
- 会長：甲府みなみ幼稚園の設置計画の変更について、認めてよいか。

第 2 号議案については、全員一致で承認することが適当である旨、答申された。